

第1回天草市総合計画策定審議会議事録

- 1 開催日時：平成26年7月23日（水） 13：30開会
- 2 場 所：天草市役所 第2委員会室
- 3 出席者：
 - 委員 中川委員、福本委員、松下委員、松本(太)委員、松本(孝)委員、俣野委員
右山委員、猪原委員、玉村委員、北岡委員、砂田委員
(欠席 浜委員、岩見委員、野崎委員、上村委員)
 - 天草市 石井教育長、金子総合政策部長、小川政策企画課長、植田企画調整係長 他
- 4 提出資料：資料1 審議会条例
資料2 審議会運営規程（案）
資料3 審議会開催スケジュール予定
資料4 第2次天草市総合計画の概要
その他 次第・審議会委員名簿・審議会席順
第2次天草市総合計画に係る基礎調査報告書(課題の抽出と提言)
第2次天草市総合計画に係る基礎調査の概要
平成25年度市政に関するアンケート（集計結果）
平成25年度市民の幸福に関する意識調査（集計結果）
平成25年度高校生アンケート（集計結果）

5 内 容

【委嘱状の交付】

〔1〕委嘱状交付

教育長より、各委員へ委嘱状交付

【総合計画策定審議会】

〔1〕開会

〔2〕市長あいさつ（代理：教育長）

平成18年3月の市町合併から「日本の宝島“天草”の創造」をまちづくりの基本理念に掲げ、平成18年度に第1次天草市総合計画を策定して以来8年間、市政運営に取り組んできた。

その間、私たちを取り巻く社会情勢は少子高齢化や雇用機会の不足など、地域社会を取り巻く環境の変化による市民ニーズの多様化や高度化への対応が喫緊の課題となってきたおり、また日本全体の人口が減少している中、本市のような地方においては地域を支える活力が徐々に衰退しているように感じる。

今回、策定する第2次天草市総合計画は、平成27年度から平成34年度までの8年間の本市のあるべき姿、目指すべき方向を示すものであり、将来の発展に向け戦略的な市政運営を行うための中・長期的な計画となる。

この総合計画を策定することにより、市民の皆様と協働して各種施策や事業を展開し、今以上に魅力ある天草を創り上げる所存であるため、委員の皆様には忌憚のない意見をいただきたい。

〔3〕 委員紹介

委員それぞれ自己紹介を行った。

〔4〕 議題

議題1 会長及び副会長の選任

会長に玉村委員、副会長に中川委員を選出。

議題2 諮問

教育長から会長へ諮問。

議題3 審議会の運営について

事務局より、配布資料に基づいて審議会の運営について説明。「天草市付属機関の設置及び運営に係る指針」により、行政の透明性を高めることを目的に、原則として公開することに決定された。

また、審議会開催日の周知及び議事録の公開はホームページ上で行うこととされた。

議題4 第2次天草市総合計画について

事務局より、配布資料に基づいて、自治体経営の課題、総合計画策定にあたっての視点、総合計画の策定方針、総合計画基本構想（案）について説明。

（会長）

総合計画審議会について、審議をするというのは皆さんで議決をするという意味ではなく、いろんなことを調べて確認をして話し合うといったことが、一番大きな役割になるので、ポイントと思ったところなどご質問、ご意見をいただいて、必要に応じて市各部局からも追加の説明等をいただきたいと思っているので、ぜひともご意見等をいただければと思う。

（委員）

第1次総合計画があつての第2次総合計画であろうから、その第1次についてご説明

いただきたい。

(事務局)

「第2次天草市総合計画に係る基礎調査報告書(課題の抽出と提言)」という資料をご覧いただきたい。こちらについては、第1次総合計画がどうだったのかということについて、課題の抽出と提言といった形で資料整理をしているものになる。このような第1次の取組みやその課題などを踏まえ、第2次の計画づくりをしていきたいと考えている。

また、第1次総合計画の概要版についても後日送付させていただくのでご確認いただきたい。

(会長)

何らかの今直面している課題、それはもちろん今日説明していただいたとおり、人口や財政の問題など、市民・行政の皆さんがこれまで取り組んできたことの課題に対して、しっかり応えていくのが第2次になろうかと考えている。

資料をお読みいただきながら、もっとこの観点は必要ではないか、もちろん資料だけでなく皆さんの生活活動実感からもこういう論点は重要ではないかなど、ぜひともご意見をいただきたい。

(委員)

現在の天草市の行政システムなど、全体として連動させて動くということについては、全くできていないように感じるので、とても重要だと考えている。基本計画の前期4年間で、連動の仕組みを作るとおっしゃられていたのは、審議会の審議をしなくても、行政の中で4年かけてそのような仕組みをつくるということとされているのか。また、過去の熊本県の基本理念を例としてあげると、熊本県の長所を伸ばして短所を引き上げるといったとてもシンプルで具体的なものだった。今回の天草市の場合は、抽象的な印象を受けたので、この案をもとに審議を進めていくのか、または、この案を全くなかったものとしてゼロからこの委員会で作っていくというふうに考えていいのか、以上、お尋ねさせていただきたい。

(事務局)

1点目については、行革的な視点で市役所内部での話となっている。こちらについては、総合計画を柱としてそれぞれの分野別計画をつくることになるため、総合計画の期間と各分野別計画の期間が合致していないと連動させていけないということから、4年間の中で今後整合性を図っていくことで考えている。行政システムの部分についても、併せて今回やっていくことで考えている。基本方針にも記載しているが、「持続可能な自治体経営ができるまちづくり」に関しては、行革審議会の中でも議論していただいた部

分が、この部分になってくると考えているので、連動させながら市役所内部の仕組みをこういう形で作りこんでいきたいと考えている。

また、基本構想案については事務局案であり、あくまでもこれに固執するというわけではなく、ゼロベースの中でやっていただきたいということも考えている。ただ、庁内の検討委員会等では、「日本の宝島天草」というキャッチフレーズについては、定着しているということもあり、それについてはそのまま使っていきたいという意見もあっているため、案としてこのような文言としているところである。

(会長)

今ご説明いただいた通りだと思うが、ご存じのとおり多くの計画があり、それぞれ動いているわけで、今回それをできる限り整理をしていくといった方針で、今後、市で検討していく必要があると思っている。もう一点抽象的ではないかといったことに関しては、もちろんここで議論はするべきだと考えているが、資料でも基本構想、基本計画、実施計画と書いてあるとおり、基本構想というレベルは理念を語ることで、大きな方向性とか、おそらくそういったことを説明するというレベルを想定しての説明だったと思う。そのため、基本計画、実施計画についてはかなり具体的な内容として進めていくことになると思うので、今日は方向性を見ていただいているということで良いと考えている。

(委員)

市側としては、網羅的に全て計画の中に盛り込まなければいけないかと思うが、私の個人的な関心事項としては、やはり産業振興、それに基づく観光の活性化等だと思っている。そういったところで、メリハリをつけた審議というものができないものなのか、また、部門別に分科会で研究するということができないものなのか、そのようなところを今後どう進めるのか、お尋ねしたい。

(会長)

おっしゃるとおり総合計画というものは今後重要な意味合いを持つため、しっかりと議論していきたいという反面、限られた時間という中で、メリハリをつけ分野ごとに話をしていきたいといったこともあるだろうと思っている。全体の進行に関わることでもあるので、皆さんのご意見をいただきながら進めていきたいと考えているが、審議会だけですべての行政が回っているということでもないで、大きな方向性を議論するとか、総合計画として特に盛り込むべき部分を確認することなどについては、ここですることになるかと考えている。しかしながら、各論に関しては、様々な市民参加の場を活用していくことになるだろうと思っているため、どこにメリハリをつけるかといったことについては、ぜひともご指摘いただいて、それにあわせて議論の用意なども可能だろうし、

産業分野に関しては一つ注目すべき点だと考えている。

(事務局)

例えば産業・観光を中心とした議論の時間を設けるなど、今後、会長、副会長などと進め方を検討しながら審議会を進めることができると考えているのでよろしくお願ひしたい。

(会長)

今日我々も最初にきいた段階であるので、各論が今後あるということだと思う。先ほどの抽象的ではないかということも、具体的な話を次回以降の審議会で議論していくといったことで事務局からも説明があったので、審議会としてもそういった方針で進めていきたい。

(委員)

市には相当な計画がいろんな分野であると思うが、各分野でこういった計画があるのか、また、その計画年度(期間)などがわかるものを整理して一覧で出していただければわかりやすいのではないだろうか。

(事務局)

期間や計画の分類(上位・下位計画など)ごとに、取りまとめを行っているところであるため、次回提示させていただきたい。

(会長)

自治体というのは様々な計画で動いているが、さらに国からも計画を作らないと補助金が出せないとか、いろんなことで計画を作ることが求められていて、結果としておそらく多数になっているかと思う。そのため、こういったタイミングで整理ができればと考えているし、市の将来のためにもいろんな計画が総合的に動くといったことは重要なことだと思っている。

(委員)

今回の基本構想というものは、各部課からあがってきた構想なのか。それとも総合政策部において考え出されたものなのか、お尋ねしたい。

(事務局)

全庁的な体制での検討委員会、専門部会等において検討したものを、今回提示させていただいている。そのような体制のもと、今後、審議会等での意見をもとにさらに検討

を重ねていくことを想定している。

(委員)

さきほど、第1次総合計画がでていたが、第1次の基本理念というものはどういう文言だったのか。

(事務局)

「日本の宝島天草の創造」という基本理念になっている。

(委員)

それが、今回こういった文言になっていると思うが、少しいろんな要素が入ってきたなという感じがある。「人がかがやき活力あふれる」くらいまでは、難なくそらんじることができると思うが、「心の絆つなぐまち」といった部分がまだ馴染めない気がするので、これを入れた意味合いといったものをご教示いただきたい。

(事務局)

長いということでのご指摘かと思うが、我々の方でいろんな課題等を踏まえて、あくまで案として提示させていただいている。そのため、今回いただいたようなご意見を踏まえながら、今後最終的に作り上げていければと考えているのでよろしくお願ひしたい。

(委員)

文言についてはおおよそ決めておいて、審議を進めていく中で、最終的に全体的なカラーをどうするかという方向性が決まってから、文言もきちっと決めれば良いのではないかと思う。

その前にまず、今回のスケジュールで何をいつまでに決めるかなどといったことがわからない中ではあるが、これから8年間天草市をどんなふうにつくっていきたいのかというイメージをきっちりここでしないと、総合計画の意味がないと思っているので、それをいつするのかを教えていただきたい。

また、人口減少・高齢化が日本の30年先をいっているということで説明してあるが、それを逆に強みとして、日本の中でも頭一つ抜けてリードした、日本の中でも天草は人口減少・高齢化が進んでも持続可能でやっていける、というふうにリードモデルとなれるような総合計画を作りたいと考えていて、地方交付税の削減など様々な要因が複雑に絡んでいる中で、みんなが一体となって日本をリードするようなモデルでこれからのビジョンをつくらないと、トータルシステムは機能しても意味がないものになると考えている。そのため、そのような議論をしっかりとする時間はあるのかについて、ご教示いただきたい。

(会長)

基本理念に関しては、確かにこのあと議論をする中でより良いものにしていこうということだと思うので、今の段階で文言の決定という話ではないと思うし、とりあえずこれで検討していただきながら、ある段階でもうちょっと切れ味をあげていくとか、そのような感じで進めていっていいかと思う。あともう一つ、そもそも今回の総合計画で何を気にしなければならないのか、それに関しては先ほど事務局からも説明があったが、各論でいろいろ議論する場面が今後あるが、それにあたって、みなさんが全体として気になっているところなどを、おそらく初回だから言えることもあるかと思うので、少しずつご発言いただいて、最後に事務局から審議会の2回目～5回目のおおまかな進め方についてご説明いただければと思う。

(委員)

様々な計画に携わっているが、ほぼ同じような形で、だいたい出来上がったものをこれで良いかといったような視点での審議になっていると感じている。今までの計画はほとんどがそうだと思う。いろいろと突っ込んだ議論があまりなされていない。しかし、今回は思い切っているような発言等をさせていただきたいと思っている。

(委員)

天草はかつて、毎年100人ぐらい、初任の教員が赴任をしていた時代があった。ところが、今年の状況は、7～8人しか初任の先生がいないといった状況になっている。それだけ、学校統合によって学校数が減っており、それに伴い教職員の必要数も減ってきている。以前は多くの教職員の交流の中で、子供たちが育ち、天草の良さをたくさん知った人たちが、いろんなところに行って活躍して、そういった話題が絶えなかったが、以前のような交流も少なくなってきており、そういう時代になってきたと思っている。だとすれば私たちは今後、天草の子供たちのために、教育の場面で何をしなければならないのかというと、やはり天草で育った人たちが、また次の世代の教育に携わるような、そういう人材を育てていかないといけないのではないかと考えている。そのためには、今教職に就いている私たちが頑張って、私たちの姿で次の世代を育てていくというようなことを考えなくてはいけないのではないかと、といったことをずっと考えていた。そういったことがこの計画の中で、人材育成のような分野の中でどんなふうに具体化されていくのかということが楽しみな気がしている。

(委員)

先ほどの意見にもあったように、どれからするのかとか、どういうふうに力をいれていくのかとか、そのあたりがわかり辛かったと感じている。これから部門ごとに議論が進んでいけばいいなと思っている。私も3ヶ年計画などを作ることがあるが、同じよう

に抽象的なところで作っていったって、実際そのようになるのか、などといった心配をしながら作成することもあるが、今回についてはもう少し具体性をもって協議・検討をしていければと感じた。

(委員)

今後、特に商工関係の振興というようなところでは、いろいろと意見を言わせていただければと思っている。

(委員)

将来像というのはわかるが、基本方針になると形容詞が多くなっていて、そういうのはどこでも同じだという認識でいる。キャッチフレーズはどこでも同じというふうを受け止めるので、やはり天草は天草らしいところを盛り込んでいただきたい。そして、子供にも大人にもわかるような文言で表していただければいいのではないかとと思っている。

(委員)

初めて参加させていただいて、漠然としているというか、取り組みが大きいと感じている。その中でやはり中の議論に入っていくと、施策でいろいろなものが出てくと思うが、各部局であがってきたものなどで、中長期的に市が取り組む予定というのをここで審議するという事なのか。

(会長)

ここは市議会ではないので、各論を議論するというよりは、市長から受けた諮問に関して、こういう意見を交換しましたということ報告する、その時に様々な素材であるとか、市の方で検討していることをきかせていただいて、我々としてはこういう方針です、というのをお返しするという事だと思っている。各論、予算がどうだとか、それはもちろんそうではないということになるので、できるだけ本質的な議論ができるかでおそらくここは変わるかと思っている。いろんな問題はたくさんある中で、そこをどうするか、細かく一つ一つについて議論の場を設けることもなかなか難しいが、こういった行政の実務の現場で皆さんが直面していることを、行政の方々に検討していただいて、それをきくほうがより深く議論することができるだろうし、できる範囲でやっていったら、そのうえで行政の皆さんにお任せすることはする、といったスタンスで進めていきたいと思っているので、気になることなどがあれば遠慮なく出していただき、できる限り議論をしていきたいと思う。

(委員)

我々が考えることは分野が多岐に渡っていて、それをまとめて諮問があれば答申しな

ければならないという立場なので、これから先の教育はこうあるべきだ、観光はどうあるべきだなどといったことを結論として出して市長に答申することになるのか。

(会長)

一つ一つ細かい方針を出すというわけではなく、策定体制を見てもわかるように、様々なところで検討がなされており、庁内でいうと市長をトップとして、かなり具体的なところで議論がされ、それをベースとして我々がさらに議論をする。そのため、我々がすべての議論をするというわけではなく、そもそもしっかりとした現場の中で得てきたことなど、そういったことをベースに議論がされたものをもとに審議をしていくといったことになるので、全てそのようなことを議論する場といったことではない。

(委員)

加えて、先に市長が市民の方々に約束したマニフェストと、これからスタートする総合計画、どれを優先的に執行していくのかということを実際に考えなければならないと思っている。

(会長)

審議会委員は住民から選ばれている立場ではないので、そういったことを決めるといった立場ではなく、あくまで今回は市長という住民から選ばれている方から諮問されたことについて意見交換・審議をして、それを市長にお返しするといった立場であり、具体的にマニフェストについてどうするかといったことについては、議会と市長の間で話すことになろうかと思うので、ここではそのことについて我々でどうこうするといったわけではない。

(委員)

先ほど総合計画の文言についての話があったが、文言については事務局に一任する形で良いかと思っている。先ほどもっと突っ込んだ話をしたかったのが、第1次総合計画の総括なり評価をもとにして第2次総合計画を作るのであれば、そのようなところをしっかりと踏まえたものとなるようにしてほしい。

(委員)

今、いろいろと皆さんの話をきいていて、中身をどう詰めていくかということで、総合計画なので、天草市のすべての政策に関わっていくことになる。これが天草市の最上位の計画ということになるため、これに従って他の計画が立てられていくといったことになろうかと思う。今後審議会をやっていく場合に、あと4回あるが、最終回はまとめとなるわけで、実質的に検討ができるのは残り3回しかないといった状況だろうと思っ

ている。何の審議会でも同じだろうと思うが、議論の場が少ない。冒頭申し上げたが、長いところは丸一年かけてやる、そういう地域もかなりある。だから、これはこれで決められた予定であろうから、これでいかざるを得ないと思うが、まず、まちの将来像4項目について、説明文をよく読まなければわからないし、すんなりと入ってこない。もちろん案といった前提ではあるが、もっとシンプルなことで表された方が良いのではないかと感じている。

それから、まちの将来像はわかるが、基本方針の7項目について、これが何を意味しているのか、あまりにも抽象的だと感じるので、できればこれはどういう分野を指している、こういうことをやるということを、基本方針の中では打ち出していった方が良いのではないかという気がしている。先ほどから話があるように、地方交付税も50億円ぐらい減る試算ということなので、そういった中でいろんな天草市の計画をつくるということを考えると、やはり悠長な考えではいけないだろうと思うし、もっともっとスピード感をもって、天草市の構想が実現できるような計画をつくらないと、持続可能ななんてとんでもない、といったふうになりはしないかなと心配をしているところである。

(事務局)

次回以降について、最終回はまとめになるので、2回～4回の時に今回ご指摘いただいたことになるが、具体的な基本計画の中身を提示させていただき、それをもとに審議いただきたいと考えている。その中で、基本方針7項目についてもどういった形にするかなど、検討させていただきたい。

(会長)

議題4については以上のようなところで、その他委員の皆さま、事務局から何かあればご発言いただきたい。

それでは、以上をもって本日の審議を閉めさせていただくが、次回からたくさんご意見を賜りたいと思うので、よろしく願いしたい。